

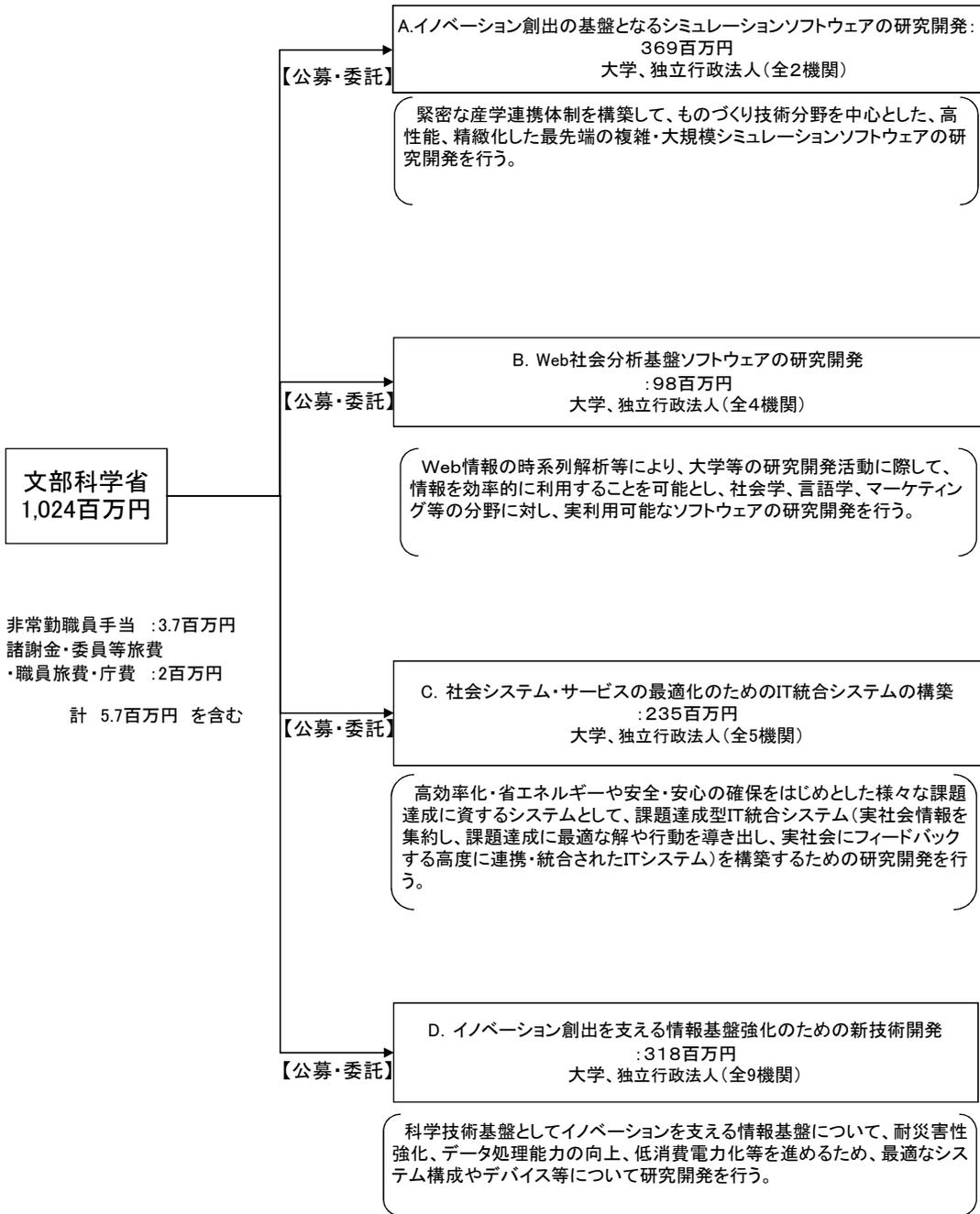
平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	次世代IT基盤構築のための研究開発		担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～未定		担当課室	研究振興局参事官(情報担当)付	参事官(情報担当) 下間 康行			
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-2 情報通信分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報科学技術は、今後様々な社会的・科学的課題の達成に向けて科学技術が貢献していく上で重要な鍵を握る共通基盤的な技術である。情報科学技術を用いて次世代IT基盤を構築することは、これからの経済社会、科学や産業の持続的発展、イノベーションの創出、安全・安心な社会の実現のために必要不可欠である。このため、解決が必要な技術的課題について国が戦略的な観点から取り組むため、本事業による研究開発プロジェクトを推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	次世代IT基盤の構築に不可欠なハードウェアやソフトウェアの基盤技術について、大学等の研究ポテンシャルを有する研究拠点を中心とした産学官連携体制により研究開発を推進する。具体的な研究開発課題は次の通り: ○産業界のニーズに的確に対応した大規模シミュレーションソフトウェアの研究開発 ○Web上の情報(動画・画像等)を効率よく収集・分析し、研究等に活用するための基盤的技術の研究開発 ○高効率社会システムの構築に不可欠な共通基盤を確立するために必要となる先端的な情報システム統合基盤技術の研究開発 ○情報基盤の耐災害性強化、超低消費電力化、高機能化等のための研究開発							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	▲0	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	1,267	1,002	1,066	507	1,676	
	執行額	1,266	1,001	1,024	-	-		
執行率(%)	99.9%	99.9%	96.1%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	上記事業概要の欄に記載した技術課題の解決につながる画期的な基盤技術の確立			論文数	60	92	51	-
				特許数	5	2	5	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施課題数及び実施機関数			課題数	5	6	4	3
				機関数	22	26	16	16
単位当たりコスト	267 (百万円/課題)		算出根拠	単位当たりコスト=(24年度予算額:1,067百万円)÷(24年度実施課題数:4課題)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	501.7百万円	1,672.0百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,500百万円				
	非常勤職員手当	3.7百万円	-					
	委員等旅費	0.5百万円	0.9百万円					
	職員旅費	1.2百万円	2.6百万円					
	諸謝金・庁費	0.3百万円	0.4百万円					
	計	507.3百万円	1,676.0百万円					

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	情報科学技術は、ライフサイエンス、ナノテクノロジー、環境、ものづくり等の科学技術分野から交通、医療、教育、防災、エネルギー等の社会応用分野にいたるまで、極めて広範な範囲にわたって国民生活と密接に関わる共通基盤的技術としての役割を果たしている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当該事業は共通基盤技術としての要素が大きいため公共性が高く、民間にゆだねることが出来ない課題について、実用化研究を行う総務省、経済産業省等関係省庁や実用化主体の民間企業等と連携しながら、文科省が行うべき研究開発を行っている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	なお、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)に掲げられた重要課題の達成や、科学技術イノベーションの推進のため、本事業は必要不可欠であり、優先度の高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	委託開始当初より課題ごとに公募を行うことで競争性を確保しており、また、課題選定に当たっては、必要経費の積算の適切性を審査の観点の一つとしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	経費の執行に関しては、事業年度毎に実績報告書等において、支出先・用途の把握や事業目的との整合性についての確認に努めている。また、現地調査を行うなど必要な指導を行っている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	有識者により選定された研究代表機関の下、目的に則した分担機関による業務を実施することで他の手段と比較して効果的な手段となっている。また、4件の課題について、当初の見込み通り着実な成果を上げており、活動実績は見込みに見合ったものであった。それぞれの成果物については、国民への公開や企業へのライセンス付与等により、十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	○当初計画通り着実に事業を推進しており、成果物も十分に活用されている。				
	○各課題については、文部科学省の審議会において、事前評価、中間評価を実施し、事業の効果的・効率的な運営に向けた委員からの指摘等を事業に反映している。				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、超低消費電力かつ高密度・大容量記録が可能なストレージシステムを実現する基盤技術の研究開発等を推進する競争的資金であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は、平成23年度レビュー等の指摘を踏まえ、研究開発の実施課題の重点化とコスト縮減を図ってきたことは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、積算単価を見直すなどコスト削減に努めるべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	本事業においては、政府方針を踏まえ研究開発の更なる重点化を行うとともに、実証実験やシステム開発等の積算を精査することで、コスト削減を図り、▲8百万円を概算要求に反映した。引き続き、事業全体の効果的・効率的な実施に努めていく。				
備考					
<p>・文部科学省の政策評価調書 政策目標10 科学技術の戦略的重点化に関連事項を記載 http://www.mext.go.jp/a_menu/kaikei/nenji/1326167.htm</p> <p>・文部科学省情報科学技術委員会(第81回)配付資料 当該事業のうち平成24年度終了課題の最終成果報告資料を掲載 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu2/006/shiryo/1335363.htm</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	0255	平成24年	0269

※平成24年度執行額

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人東京大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	ソフトウェア作成と実証	141			
人件費・謝金	業務担当職員、補助者、社会保険料等事業主負担分等	109			
間接経費		83			
その他	印刷製本費、研究室借料、学会参加費等	12			
物品費	ソフトウェア、パソコン、計算機用消耗品	8			
旅費	外国旅費・国内旅費	6			
計		360	計		0
B.国立大学法人東京大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	大規模多メディアWeb解析のための実証評価基板システム等	19			
間接経費		10			
人件費・謝金	業務担当職員、社会保険料等事業主負担分等	8			
その他	光熱水料、学会参加費、論文印刷等	3			
旅費	外国旅費・国内旅費	2			
計		41	計		0
C.国立大学法人北海道大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	ネットワークストレージ、開発・実験用ワークステーション等	24			
人件費・謝金	業務担当職員、補助者、社会保険料等事業主負担分等	13			
間接経費		13			
旅費	外国旅費・国内旅費	5			
その他	データ端末通信費、北海道大学アカデミッククラウド基本料および利用料等	2			
計		58	計		0
D.国立大学法人東北大学			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	オシロスコープ、パルスジェネレータ、磁性体温度変化システム等	92			
間接経費		33			
その他	外注費(材料・素子構造評価、装置保守)、借損料(実験室借り上げ)、学会参加費等	10			
旅費	外国旅費・国内旅費	5			
人件費・謝金	業務担当職員、派遣職員、社会保険料等事業主負担分等	4			
計		144	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

支出先上位10者リスト

A.イノベーション創出の基盤となるシミュレーションソフトウェアの研究開発

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	プロジェクトの総合的推進、次世代ものづくりシミュレーションシステムの研究開発、量子バイオシミュレーションシステムの研究開発、ナノデバイスシミュレーションシステムの研究開発	360	企画競争	-
2	独立行政法人科学技術振興機構	事業実施に係る支援業務	9	企画競争	-

B.Web社会分析基盤ソフトウェアの研究開発

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	多メディアWeb解析要素技術、分析可視化技術、収集・蓄積技術の研究および、実証評価に関する研究	41	企画競争	-
2	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	プロジェクトの総合的推進、多メディアWeb解析要素技術・統合処理技術および実証評価に関する研究	30	企画競争	-
3	学校法人早稲田大学	多次元解析高速化技術に関する研究、多メディアWeb高速化技術と関連づけた統合処理に関する研究およびその実証評価に関する研究	25	企画競争	-
4	独立行政法人科学技術振興機構	事業実施に係る支援業務	2	企画競争	-

C.社会システム・サービスの最適化のためのIT統合システムの構築

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人北海道大学	分析・可視化手法の相互接続技術の構築実装、統合環境の適用実証実験、分析可視化サービス・ライブラリの整備充実	58	企画競争	-
2	国立大学法人大阪大学	マルチパラメータ統合によるデータ収集・解析・知識創成技術の開発、人・モノ・システムへのリアルタイムフィードバック技術の開発、都市のスマート化のためのモデリング・シミュレーション/テストベッド構築技術の開発	58	企画競争	-
3	国立大学法人九州大学	機動的なセンシングネットワークシステムを構築するハイブリッドネットワークキングの研究開発、社会システム・サービスのためのリアルタイム・ソーシャルセンシング技法の基本設計	58	企画競争	-
4	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	プロジェクトの総合的推進、マルチストリームデータ管理システムの機能要求条件の検討、実社会フィードバックに関する方策の検討、実世界データの収集管理	56	企画競争	-
5	独立行政法人科学技術振興機構	事業実施に係る支援業務	5	企画競争	-

D.イノベーション創出を支える情報基盤強化のための新技術開発

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人東北大学	プロジェクトの総合的推進、耐災害性に優れた安心・安全社会のためのスピントロニクス材料・デバイス基盤技術の研究開発、	144	企画競争	-
2	国立大学法人東北大学	プロジェクトの総合的推進、高機能高可用性情報ストレージ基盤技術の開発、高速データ転送の記録理論構築と並列転送最適化の基礎検討	112	企画競争	-
3	株式会社日立製作所	分散型データ複製基盤システムのデータ管理機構設計、リスクウェア複製の基本設計	22	企画競争	-
4	株式会社日立ソリューションズ東日本	投票情報システムの機能設計、投票情報システムを用いて高機能高可用性ストレージ基盤の評価をするための実証実験の仕様策定	15	企画競争	-
5	日本電気株式会社	スピントロニクス応用によるコンピュータシステムの耐災害性向上の評価	10	企画競争	-
6	独立行政法人科学技術振興機構	事業実施に係る支援業務	7	企画競争	-
7	国立大学法人山形大学	放射線照射による磁気トンネル接合界面の構造評価	5	企画競争	-
8	株式会社東栄科学産業	高性能スピントロニクス材料・デバイス開発に向けた高速計測と高磁場印可・高感度磁気特性評価技術の構築	2	企画競争	-
9	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	スピントロニクス素子の電子・正孔対生成現象の評価	1	企画競争	-

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。